

令和 6 年 5 月 29 日現在

機関番号：34417

研究種目：基盤研究(B)（一般）

研究期間：2021～2023

課題番号：21H03047

研究課題名（和文）脳腫瘍の再発予知と予防薬の開発

研究課題名（英文）Development of treatments for recurrent brain tumors

研究代表者

浅井 昭雄（ASAI, Akio）

関西医科大学・医学部・教授

研究者番号：50231858

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 12,800,000円

研究成果の概要（和文）：がんの再発や転移の原因として、がん幹細胞の存在が注目されている。本研究では、shRNAレンチウイルス、RNAシーケンス解析および免疫組織化学法を用いて、肺癌脳転移巣およびそのがん幹細胞におけるイオンチャネルであるムコリピンの発現を確認した。これらの研究成果は、ムコリピンが転移性脳腫瘍の治療の標的になり得る可能性を示唆する。

研究成果の学術的意義や社会的意義

国内における転移性脳腫瘍の患者数は数万人以上と推計されている。転移性脳腫瘍に対する治療は、手術切除と放射線治療が標準的だが、患者の予後は依然として悪い。がんの発生、再発、転移および治療抵抗性の根源として、がん幹細胞の存在が提唱されている。がん幹細胞は自己増殖しながら分化したがん細胞を生み出すため、がん幹細胞に作用する薬物が開発できれば、根治療法につながる可能性がある。

研究成果の概要（英文）：The presence of cancer stem cells has attracted attention as a cause of cancer recurrence and metastasis. In this study, we used shRNA lentivirus, RNA sequencing analysis, and immunohistochemistry to confirm the expression of mucolipin, an ion channel, in lung cancer brain metastases and their cancer stem cells. These findings suggest that mucolipin may be a potential target for the treatment of metastatic brain tumors.

研究分野：脳神経外科学

キーワード：脳腫瘍 がん幹細胞 再発 転移

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1. 研究開始当初の背景

がんの再発や転移の原因として、がん幹細胞の存在が注目されている。がん幹細胞は、自己複製能と通常のがん細胞への分化能を備え、治療に抵抗性を示す。我々は、グリオーマ、転移性脳腫瘍、および肺癌の病巣からがん幹細胞を樹立し、新しい分子標的(ムコリピン)を発見した。さらにムコリピンの抑制薬の化学構造をもとに、がん幹細胞の増殖を抑制できる新薬を創出した。

正常細胞において、ムコリピンは細胞内のエンドソームに分布する。しかし、我々は電気生理学および免疫組織学的手法を用いて、ムコリピンが、がん幹細胞の細胞膜に局在することを見いだした。細胞膜に分布するムコリピンは、Na イオンを細胞内に流入させる。Na イオンは水の浸透流を引き起こすため、細胞容積が増加する。細胞容積は細胞の増殖や遊走に関わるため、ムコリピンの特異な分布は、がん幹細胞の機能に重要な意義をもつと考えられる。一方で、細胞外からムコリピンに作用する薬剤は、がん幹細胞を特異的に処置できると考えられる。また、ムコリピンはがん幹細胞に特異的なバイオマーカーになりうる。

2. 研究の目的

本研究は、ムコリピンについてがん幹細胞における細胞生物学的意義を検証した。次に、ムコリピンをコードする MCOLN について、RNA シーケンス解析で、遺伝子発現量、融合遺伝子、スプライシングバリエーション、および点変異を調べた。さらに、転移性脳腫瘍の病理組織標本におけるムコリピンタンパク質の発現量と分布を調べた。

3. 研究の方法

(1) 本研究は、関西医科大学遺伝子倫理審査委員会および医学倫理委員会に申請を行い、承認の回答を得てから実施した。転移性脳腫瘍および肺癌由来のがん幹細胞は三次元スフェア培養法を用いて樹立した (Neuro Oncol 22(3): 333-44, 2020)。手術で切除されたがん組織(0.1-1 g)をはさみにより細かく刻んだ。細切された組織を細胞剥離液 (Accumax; ナカライテスク) 2 mL を入れた試験管に移し、37 °C の恒温槽で 5 分間振盪 (20 回/分) した。細胞培養液 8 mL を加え混和し、遠心 (40 × g, 5 分) した。上清を捨て、細胞培養液 10 mL を加え混和し、超低接着表面ディッシュ (100 mm; Corning) で培養した。培養は、5% CO₂/95% 空気、37 °C の湿潤な環境で行った。細胞培養液は、D-MEM/Ham's F-12 (和光純薬) に、NaHCO₃ (49 mM)、グルコース (26 mM)、L-グルタミン (3 mM)、MACS NeuroBrew-21 (5 mL; Miltenyi Biotec)、上皮成長因子 (EGF, 20 ng/mL; PeproTech)、線維芽細胞増殖因子 (bFGF, 20 ng/mL; PeproTech)、およびペニシリン (100 U/mL) とストレプトマイシン (0.1 mg/mL) を添加したものを使用した。

(2) shRNA レンチウイルスベクターを用いて、がん幹細胞におけるムコリピン遺伝子 (MCOLN1、MCOLN2 および MCOLN3) をノックダウンした。がん幹細胞を試験管に移し、遠心した。上清を捨て、トリプシン-EDTA 溶液 (Sigma-Aldrich) 2 mL を加え、37 °C の恒温槽で 5 分間インキュベートした。細胞培養液を加え混和し、遠心した。上清を捨て、細胞培養液を加えた。細胞数を計測し、2,000 個の細胞を 96 ウェル超低接着表面プレート (Corning) に移し、6 日間培養した。生細胞数測定試薬 SF (ナカライテスク) を用いて、生細胞数を計測した。

(3) RNeasy Mini Kit (Qiagen) を用いて、がん幹細胞から RNA を抽出した。バイオアナライザ電気泳動システム (Agilent 2100; Agilent) を用いて、RNA の品質を確認した。strand-specific ライブラリー調製法 (NEBNext Poly(A) mRNA Magnetic Isolation Module; New England Biolabs) でシーケンスライブラリーを作製した。次世代シーケンサー (NovaSeq 6000; Illumina) を用いて、ライブラリー調製したサンプルの塩基配列を 1 検体あたり 12 GB で取得した。ソフトウェア FastQC を用いて、クオリティスコアを確認し、シーケンスの品質に問題がなかった。ソフトウェア Trimmomatic を用いて、シーケンスリードをトリミングした。ソフトウェア HISAT2 を用いて、トリミング後のシーケンスリードをリファレンスゲノム (hg38) へマッピングした。リードのマッピング率は 86-98% であった。ソフトウェア featureCounts を用いて、マッピングされた raw リード数をカウントした。ソフトウェア featureCounts を用いて、マッピングされたフラグメントのカウントを行い、TPM 値を算出した。

(4) 免疫組織化学染色に使用した一次抗体と希釈倍率を表 1 に示す。二次抗体は、Alexa Fluor Plus 488 標識抗ウサギイムノグロブリン抗体 (A32790; Invitrogen) および Alexa Fluor Plus 647 標識抗ヤギイムノグロブリン抗体 (A32849; Invitrogen) を使用した。がん幹細胞を 4% パラホルムアルデヒド溶液で固定した。0.2% TritonX-100 により細胞膜の透過処理を行った。10% 正常口バ血清 (D9663; Sigma-Aldrich) によりブロッキングを行い、一次抗体と蛍光二次抗体を反応させた。DAPI (4',6-Diamidino-2-phenylindole, 1 μg/ml; 同仁化学研究所) を用いて細胞核を染色した。蛍光は共焦点レーザー顕微鏡 (LSM700; Carl Zeiss) を用いて観察し、画像を取得した。

表 1 免疫組織化学法に用いた一次抗体

	メーカー	希釈倍率
抗 MCOLN1 抗体	HPA031763 ; Atlas Antibodies	100
抗 MCOLN2 抗体	HPA019114 ; Atlas Antibodies	200
抗 MCOLN3 抗体	HPA018106 ; Atlas Antibodies	200
抗 CD44 抗体	LS-B16702 ; LifeSpan Biosciences	400

4 . 研究成果

shRNA レンチウイルスベクターを用いてムコリピン遺伝子をノックダウンすることにより、がん幹細胞における細胞生物学的意義を検証した。ムコリピンをコードする MCOLN1 をノックダウンすると、細胞の増殖が抑制された (図 1)。

ムコリピンをコードする MCOLN について、RNA シーケンス解析で遺伝子発現量を調べた。肺癌脳転移の 4 患者由来のがん幹細胞株における、分子の発現量は、MCOLN1 (17 TPM) > MCOLN3 (16 TPM) > MCOLN2 (3 TPM) の順位であった。また、4 患者に共通する変異は検出されなかった。

免疫組織化学法を用いて、肺癌脳転移由来のがん幹細胞における MCOLN がコードするタンパク質の発現を評価した。MCOLN1、MCOLN2 および、MCOLN3 がコードするタンパク質が、がん幹細胞の細胞膜に分布していた (図 2)。

免疫組織化学法を用いて、転移性脳腫瘍の病理組織標本におけるムコリピンタンパク質の発現量と分布を調べた。その結果、転移性脳腫瘍の 22 症例のうち 19 症例で、MCOLN1 がコードするタンパク質の発現を認めた (H-score 70-190)。また、21 症例で、MCOLN2 がコードするタンパク質の発現を認めた (H-score 85-265)。MCOLN1 または MCOLN2 が転移性脳腫瘍の病態発生に関与する可能性が示唆された。

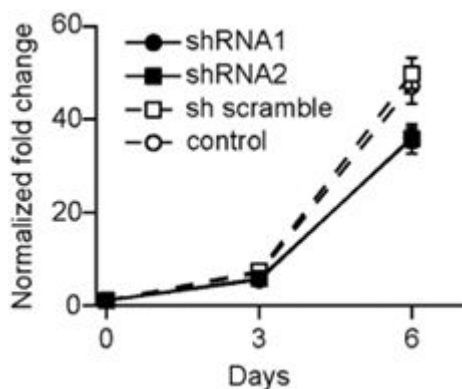


図 1 細胞増殖アッセイ。shRNA1 および shRNA2 を感染させると、細胞の増殖が抑制された。

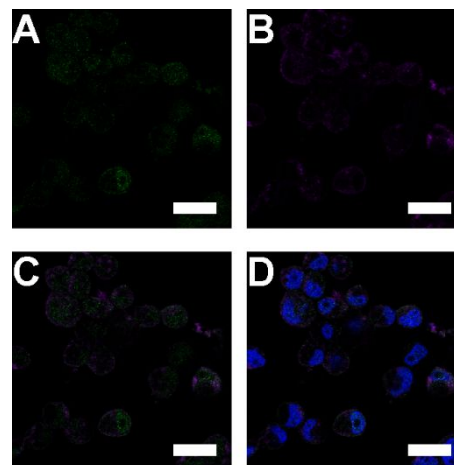


図 2 がん幹細胞における蛍光免疫染色。(A) MCOLN1、(B) CD44、(C) マージ、および (D) 核染色とのマージ。スケールは 20 μ m。

< 引用文献 >

Iwata R, Lee JH, Hayashi M, et al. ICOSLG-mediated regulatory T cell expansion and IL-10 production promote progression of glioblastoma. *Neuro-Oncology*. 2020; 22(3):333-344.

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計35件（うち査読付論文 35件／うち国際共著 0件／うちオープンアクセス 35件）

1. 著者名 Isozaki Haruna, Nonaka Masahiro, Komori Yumiko, Ueno Katsuya, Iwamura Haruka, Miyata Mayuko, Yamamura Natsumi, Li Yi, Takeda Junichi, Nonaka Yuichiro, Yabe Ichiro, Zaitzu Masayoshi, Nakashima Kenji, Asai Akio	4. 巻 46
2. 論文標題 Survey of medications for myelomeningocele patients over their lifetime in Japan	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Brain and Development	6. 最初と最後の頁 18～27
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1016/j.braindev.2023.08.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Shintaku Masayuki, Hashiba Tetsuo, Nonaka Masahiro, Asai Akio, Tsuta Koji	4. 巻 Online ahead of print
2. 論文標題 Giant cell glioblastoma with lipogenic differentiation in a patient with neurofibromatosis type 1: A case report	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Neuropathology	6. 最初と最後の頁 Online
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1111/neup.12961	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Miyata Mayuko, Nonaka Masahiro, Ueno Katsuya, Naito Nobuaki, Yamamura Natsumi, Li Yi, Isozaki Haruna, Kamei Takamasa, Iwata Ryoichi, Takeda Junichi, Hashiba Tetsuo, Yoshimura Kunikazu, Asai Akio	4. 巻 37
2. 論文標題 A ventricular catheter that migrated into the fourth ventricle successfully removed using a neuroendoscope	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 British Journal of Neurosurgery	6. 最初と最後の頁 1753～1756
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1080/02688697.2021.1900782	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Takeda Junichi, Nonaka Masahiro, Li Yi, Isozaki Haruna, Kamei Takamasa, Hashiba Tetsuo, Yoshimura Kunikazu, Asai Akio	4. 巻 Online ahead of print
2. 論文標題 5-Aminolevulinic acid fluorescence-guided endoscopic surgery for deep-seated intraparenchymal tumors	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 British Journal of Neurosurgery	6. 最初と最後の頁 1～5
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1080/02688697.2023.2283129	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Nonaka Masahiro, Komori Yumiko, Isozaki Haruna, Ueno Katsuya, Kamei Takamasa, Takeda Junichi, Nonaka Yuichiro, Yabe Ichiro, Zaitzu Masayoshi, Nakashima Kenji, Asai Akio	4. 巻 39
2. 論文標題 Current status and challenges of neurosurgical procedures for patients with myelomeningocele in real-world Japan	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Child's Nervous System	6. 最初と最後の頁 3137 ~ 3145
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00381-022-05613-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kamei Takamasa, Tamada Atsushi, Kimura Toshiya, Kakizuka Akira, Asai Akio, Muguruma Keiko	4. 巻 369
2. 論文標題 Survival and process outgrowth of human iPSC-derived cells expressing Purkinje cell markers in a mouse model for spinocerebellar degenerative disease	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Experimental Neurology	6. 最初と最後の頁 114511 ~ 114511
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.expneurol.2023.114511	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takami H, Satomi K, Fukuoka K, Nakamura T, Tanaka S, Mukasa A, Saito N, Suzuki T, Yanagisawa T, Sugiyama K, Kanamori M, Kumabe T, Tominaga T, Tamura K, Maehara T, Nonaka M, Asai A, Yokogami K, Takeshima H, Iuchi T, Kobayashi K, Yoshimoto K, Sakai K, Nakazato Y, Matsutani M, Nagane M, Nishikawa R, Ichimura K.	4. 巻 13
2. 論文標題 Distinct patterns of copy number alterations may predict poor outcome in central nervous system germ cell tumors	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 15760
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-023-42842-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hashiba Tetsuo, Nonaka Masahiro, Iwamura Haruka, Kamei Takamasa, Takeda Junichi, Asai Akio	4. 巻 18
2. 論文標題 Refractory Delayed Pneumocephalus after Transsphenoidal Cyst Drainage for Rathke's Cleft Cyst in a Patient with a Cerebrospinal Fluid Shunt	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Asian Journal of Neurosurgery	6. 最初と最後の頁 342 ~ 346
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1055/s-0043-1768573	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nonaka Masahiro, Itakura Takeshi, Iwamura Haruka, Ueno Katsuya, Naito Nobuaki, Miyata Mayuko, Isozaki Haruna, Li Yi, Takeda Junichi, Asai Akio	4. 巻 39
2. 論文標題 Comparison of intraoperative neurophysiological monitoring methods for lumbosacral lipoma surgery in infants	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Child's Nervous System	6. 最初と最後の頁 1603 ~ 1610
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00381-023-05900-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Komori Yumiko, Nonaka Masahiro, Iwamura Haruka, Ueno Katsuya, Miyata Mayuko, Isozaki Haruna, Li Yi, Takeda Junichi, Hashiba Tetsuo, Asai Akio	4. 巻 39
2. 論文標題 The effect of shunt removal on the quality of life in patients with congenital hydrocephalus	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Child's Nervous System	6. 最初と最後の頁 1261 ~ 1266
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00381-023-05835-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Maeda Masatomo, Nonaka Masahiro, Naito Nobuaki, Ueno Katsuya, Kamei Takamasa, Asai Akio	4. 巻 39
2. 論文標題 5-ALA fluorescence-guided resection of pediatric low-grade glioma using the ORBEYE 3D digital exoscope: a technical report	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Child's Nervous System	6. 最初と最後の頁 1061 ~ 1064
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00381-022-05612-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mishima K, Nishikawa R, Narita Y, Mizusawa J, Sumi M, Koga T, Sasaki N, Kinoshita M, Nagane M, Arakawa Y, Yoshimoto K, Shibahara I, Shinojima N, Asano K, Tsurubuchi T, Sasaki H, Asai A, Sasayama T, Momii Y, Sasaki A, Nakamura S, Kojima M, Tamaru J, Tsuchiya K, Gomyo M, Abe K, Natsumeda M, Yamasaki F, Katayama H, Fukuda H	4. 巻 25
2. 論文標題 Randomized phase III study of high-dose methotrexate and whole-brain radiotherapy with/without temozolomide for newly diagnosed primary CNS lymphoma: JCOG1114C	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Neuro-Oncology	6. 最初と最後の頁 687 ~ 698
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/neuonc/noac246	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nonaka M, Itakura T, Iwamura H, Ueno K, Naito N, Miyata M, Isozaki H, Li Y, Takeda J, Asai A.	4. 巻 Online ahead of print
2. 論文標題 Comparison of intraoperative neurophysiological monitoring methods for lumbosacral lipoma surgery in infants	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Child's nervous system : ChNS	6. 最初と最後の頁 Online
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00381-023-05900-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Komori Y, Nonaka M, Iwamura H, Ueno K, Miyata M, Isozaki H, Li Y, Takeda J, Hashiba T, Asai A.	4. 巻 Online ahead of print.
2. 論文標題 The effect of shunt removal on the quality of life in patients with congenital hydrocephalus	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Child's nervous system : ChNS	6. 最初と最後の頁 Online
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00381-023-05835-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Iwamura H, Nonaka M, Komori Y, Miyata M, Kamei T, Asai A.	4. 巻 39(1)
2. 論文標題 Newborn with severe supratentorial subdural hematoma due to laceration of the tentorium cerebelli	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Child's nervous system : ChNS	6. 最初と最後の頁 261-264
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00381-022-05588-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Iwamura H, Nonaka M, Li Y, Ueno K, Takeda J, Hashiba T, Asai A.	4. 巻 14
2. 論文標題 A case of acute hydrocephalus due to a giant prolactinoma rescued by transventricular neuroendoscopic tumorectomy	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Surgical neurology international	6. 最初と最後の頁 30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.25259/SNI_1060_2022	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 亀井孝昌, 吉村晋一, 上野勝也, 岩村晴香, 李強, 内藤信晶, 山村奈津美, 宮田真友子, 李一, 武田純一, 羽柴哲夫, 埜中正博, 淺井昭雄	4. 巻 27(2)
2. 論文標題 髄液漏出症に伴う二次性慢性硬膜下血腫に対する頭蓋内圧モニター留置の有用性 緊急硬膜外自家血パッチ療法にて救命し得た1例	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Neurosurgical Emergency	6. 最初と最後の頁 159-164
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24723/jsne.27.2_159	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mishima K, Nishikawa R, Narita Y, Mizusawa J, Sumi M, Koga T, Sasaki N, Kinoshita M, Nagane M, Asai A et al.	4. 巻 Online ahead of print
2. 論文標題 Randomized phase III study of high-dose methotrexate and whole-brain radiotherapy with/without temozolomide for newly diagnosed primary CNS lymphoma: JCOG1114C	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Neuro-oncology	6. 最初と最後の頁 Online
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/neuonc/noac246	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 内藤 信晶, 埜中 正博, 淺井 昭雄	4. 巻 47(3)
2. 論文標題 両側の中頭蓋窩くも膜のう胞との交通を認めた鞍上部くも膜のう胞症の1例	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 小児の脳神経	6. 最初と最後の頁 330-334
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34544/jspn.47.3_330	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takami H, Elzawahry A, Mamatjan Y, Fukushima S, Fukuoka K, Suzuki T, Yanagisawa T, Matsushita Y, Nakamura T, Asai A et al.	4. 巻 24(8)
2. 論文標題 Transcriptome and Methylome Analysis of CNS Germ Cell Tumor Finds its Cell-of-Origin in Embryogenesis and Reveals Shared Similarities with Testicular Counterparts	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Neuro-Oncology	6. 最初と最後の頁 1246-1258
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/neuonc/noac021	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Satomi K, Takami H, Fukushima S, Yamashita S, Matsushita Y, Nakazato Y, Suzuki T, Tanaka S, Mukasa A, Asai A et al.	4. 巻 24(5)
2. 論文標題 12p gain is predominantly observed in non-germinomatous germ cell tumors and identifies an unfavorable subgroup of central nervous system germ cell tumors	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Neuro-oncology	6. 最初と最後の頁 834-846
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/neuonc/noab246	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 吉村晋一, 亀井孝昌, 武田純一, 浅井昭雄	4. 巻 50(4)
2. 論文標題 関西医科大学附属病院におけるSTA-MCAバイパス術の工夫	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Neurological Surgery	6. 最初と最後の頁 874-876
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11477/mf.1436204639	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nonaka M, Komori Y, Isozaki H, Ueno K, Kamei T, Takeda J, Nonaka Y, Yabe I, Zaitzu M, Nakashima K, Asai A.	4. 巻 Online ahead of print.
2. 論文標題 Current status and challenges of neurosurgical procedures for patients with myelomeningocele in real-world Japan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Child's nervous system : ChNS	6. 最初と最後の頁 Online
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00381-022-05613-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Maeda M, Nonaka M, Naito N, Ueno K, Kamei T, Asai A.	4. 巻 Online ahead of print.
2. 論文標題 5-ALA fluorescence-guided resection of pediatric low-grade glioma using the ORBEYE 3D digital exoscope: a technical report	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Child's nervous system : ChNS	6. 最初と最後の頁 Online
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00381-022-05612-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ueno K, Nonaka M, Hashiba T, Li Y, Kamei T, Takeda J, Asai A.	4. 巻 13
2. 論文標題 Primary central nervous system lymphoma of the tectal plate in adult	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Surgical neurology international	6. 最初と最後の頁 319
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.25259/SNI_356_2022	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takeda J, Nonaka M, Li Y, Isozaki H, Kamei T, Hashiba T, Asai A.	4. 巻 13
2. 論文標題 5-Aminolevulinic acid fluorescence-guided endoscopic surgery for intraventricular tumors	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Surgical neurology international	6. 最初と最後の頁 302
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.25259/SNI_488_2022	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nonaka M, Asai A.	4. 巻 65(3)
2. 論文標題 Abusive Head Trauma in Infants and Children in Japan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Korean Neurosurgical Society	6. 最初と最後の頁 380-384
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3340/jkns.2021.0285	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 岩瀬正顕, 川上勝弘, 山村奈津美, 李強, 須山武裕, 島田志行, 武田純一, 李一, 浅井昭雄	4. 巻 36(1)
2. 論文標題 興味あるMRI画像所見と内視鏡手術所見を示した腰部脊椎管硬膜外脂肪腫症の1例	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 脊髄外科	6. 最初と最後の頁 82-87
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2531/spinalurg.36.82	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hatta M, Kaibori M, Matsushima H, Yoshida T, Okumura T, Hayashi M, Yoshii K, Todo T, Sekimoto M.	4. 巻 25
2. 論文標題 Efficacy of a third-generation oncolytic herpes simplex virus in refractory soft tissue sarcoma xenograft models.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Molecular therapy oncolytics	6. 最初と最後の頁 225 - 235
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.omto.2022.04.010.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kaibori M, Matsui K, Hayashi M.	4. 巻 14(15)
2. 論文標題 Theranostics Using Indocyanine Green Lactosomes.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Cancers	6. 最初と最後の頁 3840
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/cancers14153840.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shoji T, Hayashi M, Sumi C, Kusunoki M, Uba T, Matsuo Y, Hirota K.	4. 巻 58(11)
2. 論文標題 Sevoflurane Does Not Promote the Colony-Forming Ability of Human Mesenchymal Glioblastoma Stem Cells In Vitro.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Medicina	6. 最初と最後の頁 1614
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/medicina58111614.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nonaka M, Ueno K, Isozaki H, Kamei T, Takeda J, Asai A	4. 巻 37(5)
2. 論文標題 Familial tendency in patients with lipoma of the filum terminale	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Child's nervous system : ChNS	6. 最初と最後の頁 1641-1647
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00381-021-05037-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Satomi K, Takami H, Fukushima S, Yamashita S, Asai A, et al.	4. 巻 Online ahead of print.
2. 論文標題 12p gain is predominantly observed in non-germinomatous germ cell tumors and identifies an unfavorable subgroup of central nervous system germ cell tumors	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Neuro-oncology	6. 最初と最後の頁 Online
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/neuonc/noab246	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takami H, Satomi K, Fukuoka K, Fukushima S, Matsushita Y, Yamasaki K, Nakamura T, Tanaka S, Mukasa A, Saito N, Suzuki T, Yanagisawa T, Nakamura H, Sugiyama K, Tamura K, Maehara T, Nakada M, Nonaka M, Asai A, et al.	4. 巻 3(1)
2. 論文標題 Low tumor cell content predicts favorable prognosis in germinoma patients	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Neuro-oncology advances	6. 最初と最後の頁 vdab110
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/oaajnl/vdab110	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nonaka M, Itakura T, Kawano H, Matsuno R, Omachi T, Isozaki H, Kamei T, Takeda J, Asai A	4. 巻 152
2. 論文標題 Resection of oculomotor nerve lesions using continuous stimulation of the oculomotor nerve proximal to the lesion: A technical report	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 World neurosurgery	6. 最初と最後の頁 56-60
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.wneu.2021.06.013	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計154件 (うち招待講演 4件 / うち国際学会 0件)

1. 発表者名 天神博志, 亀井孝昌, 浅井昭雄
2. 発表標題 Short TE TOFによる脳動脈瘤の撮像:動脈瘤モデルを用いた最適条件の検討
3. 学会等名 第53回日本脳卒中の外科学会学術集会
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 天神博志, 浅井昭雄
2. 発表標題 外視鏡を用いて行った脳動脈瘤clipping
3. 学会等名 第53回日本脳卒中の外科学会学術集会
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 須山武裕, 島田志行, 李強, 浅井昭雄
2. 発表標題 Trousseau 症候群を発症した進行膵臓癌・転移性脳腫瘍の 1 例
3. 学会等名 第49回日本脳卒中学会学術集会
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 須山武裕, 島田志行, 李強, 浅井昭雄
2. 発表標題 頭部外傷と脊椎外傷を合併した墮落症例の治療経験
3. 学会等名 第47回日本脳神経外傷学会
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 羽柴哲夫, 上田早織, 岩村晴香, 上野勝也, 山村奈津美, 宮田真友子, 李一, 吉村晋一, 天神博志, 埜中正博, 浅井昭雄
2. 発表標題 初診から治療までに時間を要した症例の検討
3. 学会等名 第25回日本正常圧水頭症学会
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 須山武裕, 島田志行, 李強, 淺井昭雄
2. 発表標題 急性期脊椎脊髄損傷の治療
3. 学会等名 第29回日本脳神経外科救急学会 (招待講演)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 埜中正博, 亀井孝昌, 李一, 淺井昭雄
2. 発表標題 術前に急変した小児脳腫瘍についての検討
3. 学会等名 第29回日本脳神経外科救急学会
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 羽柴哲夫, 上田早織, 岩村晴香, 上野勝也, 山村奈津美, 宮田真友子, 李一, 亀井孝昌, 吉村晋一, 天神博志, 埜中正博, 淺井昭雄
2. 発表標題 認可から10年、当科における悪性神経膠腫に対するペバシズマブ治療
3. 学会等名 第41回日本脳腫瘍学会学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 須山武裕, 島田志行, 李強, 内藤信晶, 淺井昭雄, 川上勝弘
2. 発表標題 帯状疱疹後脊髄炎に上肢運動麻痺合併し電気生理検査でF波出現低下を認めた1例
3. 学会等名 第53回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 須山武裕, 島田志行, 李強, 浅井昭雄
2. 発表標題 認知症患者の顔面骨折による緊急搬送例に対する治療経験
3. 学会等名 第51回日本救急医学会総会・学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 須山武裕, 島田志行, 李強, 浅井昭雄
2. 発表標題 肝硬変患者に生じた脳内出血の経験
3. 学会等名 第51回日本救急医学会総会・学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 羽柴哲夫, 上田早織, 岩村晴香, 上野勝也, 山村奈津美, 宮田真友子, 李一, 亀井孝昌, 吉村晋一, 天神博志, 埜中正博, 浅井昭雄
2. 発表標題 認知障害を主訴として紹介されたpossible iNPH症例の特徴と臨床経過
3. 学会等名 第42回日本認知症学会学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 須山武裕, 島田志行, 内藤信晶, 浅井昭雄
2. 発表標題 骨破壊性髄膜腫に対する術前腫瘍塞栓術の有用性
3. 学会等名 第39回日本脳神経血管内治療学会学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 須山武裕, 島田志行, 李強, 岩瀬正顕, 浅井昭雄
2. 発表標題 脳梗塞急性期に施行した頸動脈ステント留置術の治療成績
3. 学会等名 第39回日本脳神経血管内治療学会学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 天神博志, 浅井昭雄, 竹田明日香
2. 発表標題 無症候性頸部頸動脈NASCET法50%狭窄症例の経過観察中に脳梗塞をきたした1例
3. 学会等名 第39回日本脳神経血管内治療学会学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 李一, 桒中正博, 浅井昭雄
2. 発表標題 舌下神経管に発生した硬膜動静脈瘻の2例
3. 学会等名 第39回日本脳神経血管内治療学会学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 羽柴哲夫, 桒中正博, 岩村晴香, 上野勝也, 山村奈津美, 宮田真友子, 李一, 亀井孝昌, 吉村晋一, 浅井昭雄
2. 発表標題 軟性鏡下で非交通性水頭症の解除と生検を行った周囲嚢胞を有する第三脳室腫瘍の一例
3. 学会等名 第30回日本神経内視鏡学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 須山武裕, 島田志行, 李強, 浅井昭雄
2. 発表標題 脊椎内視鏡
3. 学会等名 第30回日本神経内視鏡学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 須山武裕, 島田志行, 李強, 浅井昭雄
2. 発表標題 水頭症VPシャント機能不全に関連した孤立性側脳室に対する神経内視鏡手術の治療経験
3. 学会等名 第30回日本神経内視鏡学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 羽柴哲夫, 岩村晴香, 上野勝也, 山村奈津美, 宮田真友子, 李一, 吉村晋一, 天神博志, 桒中正博, 浅井昭雄
2. 発表標題 possible iNPHとして診療開始した症例の臨床像と診療経過
3. 学会等名 第7回日本脳神経外科認知症学会学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 吉村晋一, 羽柴哲夫, 宮田真友子, 亀井孝昌, 桒中正博, 浅井昭雄
2. 発表標題 認知症様の症状を呈した髄膜腫の検討
3. 学会等名 第7回日本脳神経外科認知症学会学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 宮田真友子, 羽柴哲夫, 武田純一, 吉村晋一, 埜中正博, 浅井昭雄
2. 発表標題 thalamic dementiaによって発症した硬膜動静脈瘻の一例
3. 学会等名 第7回日本脳神経外科認知症学会学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 宮田真友子, 埜中正博, 上田早織, 岩村晴香, 上野勝也, 山村奈津美, 李一, 羽柴哲夫, 吉村晋一, 天神博志, 浅井昭雄
2. 発表標題 クラゾセンタンナトリウムの使用経験と脳血管攣縮期管理についての検討
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第82回学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 埜中正博, 小森裕美子, 磯崎春奈, 浅井昭雄
2. 発表標題 二分脊椎症における遺伝子変異と形態異常との関連についての検討
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第82回学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 磯崎春奈, 埜中正博, 小森裕美子, 浅井昭雄
2. 発表標題 日本の脊髄髄膜瘤患者に対する投薬加療の状況に関する調査
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第82回学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 羽柴哲夫, 上田早織, 岩村晴香, 上野勝也, 宮田真友子, 李一, 亀井孝昌, 吉村晋一, 天神博志, 桒中正博, 淺井昭雄
2. 発表標題 中枢神経原発悪性リンパ腫における血栓性合併症の検討
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第82回学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 須山武裕, 島田志行, 李強, 川上勝弘, 淺井昭雄
2. 発表標題 急性脊髄圧迫症候に対する緊急外科手術の選択と考察
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第82回学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 吉村晋一, 羽柴哲夫, 宮田真友子, 亀井孝昌, 桒中正博, 淺井昭雄
2. 発表標題 手術治療を行なった高齢者髄膜腫症例の検討
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第82回学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山村奈津美, 桒中正博, 上田早織, 岩村晴香, 上野勝也, 宮田真友子, 李一, 羽柴哲夫, 吉村晋一, 天神博志, 淺井昭雄
2. 発表標題 脳膿瘍の現状と治療、予後-過去7年間17例の検討-
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第82回学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小森裕美子, 埜中正博, 浅井昭雄
2. 発表標題 先天性および小児水頭症患者に対するVPシャント除去が生活の質に及ぼす影響の検討
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第82回学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 須山武裕, 島田志行, 李強, 岩瀬正顕, 浅井昭雄
2. 発表標題 破裂脳動脈瘤コイル塞栓術後における再治療例の検討
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第82回学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 天神博志, 浅井昭雄
2. 発表標題 Exoscopeを用いた脳内血腫除去術
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第82回学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 李一, 埜中正博, 浅井昭雄
2. 発表標題 外眼筋麻痺を呈した下垂体腺腫の検討
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第82回学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 須山武裕, 島田志行, 李強, 浅井昭雄, 川上勝弘, 西村康彦
2. 発表標題 全脊椎内視鏡(FESS)手術整備の考察
3. 学会等名 第87回近畿脊髄外科研究会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 羽柴哲夫, 上田早織, 岩村晴香, 上野勝也, 宮田真友子, 李一, 亀井孝昌, 吉村晋一, 天神博志, 埜中正博, 浅井昭雄
2. 発表標題 再手術時病理は壊死であったが、のちに脳室内播種を来した転移性脳腫瘍の2例
3. 学会等名 第28回日本脳腫瘍の外科学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 川上勝弘, 李強, 内藤信晶, 浅井昭雄
2. 発表標題 Centerpiece 2.0 Plate Fixation Systemを用いた片開式頸椎椎弓形成術の経験
3. 学会等名 第30周年記念日本脊椎・脊髄神経手術手技学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 川上勝弘, 李強, 内藤信晶, 浅井昭雄
2. 発表標題 expandable corpectomy cage system、頸椎胸椎移行部外傷での使用経験
3. 学会等名 第30周年記念日本脊椎・脊髄神経手術手技学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 川上勝弘, 李強, 内藤信晶, 浅井昭雄
2. 発表標題 頸椎後方手術における手術室の工夫
3. 学会等名 第30周年記念日本脊椎・脊髄神経手術手技学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 川上勝弘, 李強, 内藤信晶, 浅井昭雄
2. 発表標題 ナビゲーション支援の頸椎後方固定術における工夫
3. 学会等名 第30周年記念日本脊椎・脊髄神経手術手技学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山村奈津美, 桒中正博, 上田早織, 岩村晴香, 上野勝也, 宮田真友子, 李一, 羽柴哲夫, 吉村晋一, 天神博志, 浅井昭雄
2. 発表標題 急激に悪化した小児の頸髄neurenteric cystの1例
3. 学会等名 第84回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 上田早織, 羽柴哲夫, 岩村晴香, 上野勝也, 山村奈津美, 宮田真友子, 李一, 磯崎春菜, 小森裕美子, 亀井孝昌, 吉村晋一, 天神博志, 桒中正博, 浅井昭雄
2. 発表標題 症状進行のため生検術による腫瘍性疾患の否定を要したMOGAD(MOG抗体関連疾患)の一例
3. 学会等名 第84回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 須山武裕, 島田志行, 内藤信晶, 浅井昭雄
2. 発表標題 癒着性くも膜炎-シネMRI診断の有用性 胸髄癒着性くも膜炎の治療経験
3. 学会等名 第38回日本脊髄外科学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 内藤信晶, 岩瀬正顕, 武田純一, 埜中正博, 浅井昭雄
2. 発表標題 脊髄神経鞘腫 青年・非神経線維腫症性の頸髄schwannomaの治療経験
3. 学会等名 第38回日本脊髄外科学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 内藤信晶, 岩瀬正顕, 武田純一, 埜中正博, 浅井昭雄
2. 発表標題 原発性脊髄悪性神経膠腫の治療経験
3. 学会等名 第38回日本脊髄外科学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 李強, 埜中正博, 岩瀬正顕, 浅井昭雄, 川上勝弘
2. 発表標題 脊髄髄内悪性リンパ腫: 脊髄症で発症した頸髄髄内病変の治療経験
3. 学会等名 第38回日本脊髄外科学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 李強, 埜中正博, 川上勝弘, 岩瀬正顕, 淺井昭雄
2. 発表標題 神經腸管のう胞: 上位頸椎の治療經驗
3. 学会等名 第38回日本脊髄外科学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 淺井昭雄, 齊藤福樹, 吉矢和久, 吉原智之, 鎌方安行
2. 発表標題 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) での頭部外傷診療の現状
3. 学会等名 第37回日本外傷学会総会・學術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 磯崎春奈, 埜中正博, 小森裕美子, 淺井昭雄
2. 発表標題 脊髄髄膜瘤患者が必要とする投薬加療の状況に関する調査
3. 学会等名 第51回日本小兒神經外科学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 埜中正博, 小森裕美子, 磯崎春奈, 淺井昭雄
2. 発表標題 乳幼兒の腰仙部脊髄脂肪腫手術における術中神經生理学的モニタリング法の比較
3. 学会等名 第51回日本小兒神經外科学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小森裕美子, 埜中正博, 磯崎春菜, 浅井昭雄
2. 発表標題 VPシャント抜去が先天性および小児水頭症患者の生活の質に及ぼす影響についての検討
3. 学会等名 第51回日本小児神経外科学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 埜中正博, 日笠浩一郎, 小森裕美子, 磯崎春菜, 浅井昭雄
2. 発表標題 全ゲノム解析を用いた難治性脳形成障害の遺伝子異常検索
3. 学会等名 第51回日本小児神経外科学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 羽柴哲夫, 岩村晴香, 上野勝也, 山村奈津美, 宮田真友子, 李一, 吉村晋一, 天神博志, 埜中正博, 浅井昭雄
2. 発表標題 病理診断未確定でPCNSLと診断・治療した症例の検討
3. 学会等名 第41回日本脳腫瘍病理学会学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 埜中正博, 日笠幸一郎, 小森裕美子, 磯崎春菜, 浅井昭雄
2. 発表標題 全ゲノム解析にて特定した tubulin 遺伝子の変異を有する難治性脳形成障害
3. 学会等名 第65回日本小児神経学会学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 上田早織, 岩村晴香, 上野勝也, 宮田真友子, 李一, 磯崎春菜, 亀井孝昌, 武田純一, 吉村晋一, 天神博志, 埜中正博, 淺井昭雄
2. 発表標題 一次運動野に生じた症候性囊胞性放射線壊死に対してCSFリザーバー留置にて症状改善を得た一例
3. 学会等名 第83回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 濱本貴大, 埜中正博, 淺井昭雄
2. 発表標題 手術を二回実施した多発脳幹部海綿状血管腫の1例
3. 学会等名 第83回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Masaaki Iwase, Takehiro Suyama, Shikou Shimada, Nobuaki Naito, Katsuhiko Kawakami, Qiang Li, Yasuhiko Nishimura, Akio Asai
2. 発表標題 The inter laminal approach of Uni-portal full endoscopic lumbar spinal surgery: Current learning steps and issues, characters about variety of endoscopes
3. 学会等名 第38回日本脊髄外科学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 羽柴哲夫, 濱本貴大, 川野晴香, 李強, 宮田真友子, 李一, 亀井孝昌, 武田純一, 吉村晋一, 天神博志, 埜中正博, 淺井昭雄
2. 発表標題 当院における特定看護師養成と脳神経外科救急領域での貢献
3. 学会等名 第28回日本脳神経外科救急学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 須山武裕, 島田志行, 川野晴香, 浅井昭雄
2. 発表標題 脊椎脊髄外傷の現状
3. 学会等名 第28回日本脳神経外科救急学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 埜中正博, 李一, 武田純一, 浅井昭雄
2. 発表標題 重篤な急性シャント不全を来した先天性水頭症の2例
3. 学会等名 第28回日本脳神経外科救急学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 埜中正博, 武田純一, 羽柴哲夫, 浅井昭雄
2. 発表標題 脳室内腫瘍に対する内視鏡下5-ALA蛍光診断
3. 学会等名 第40回日本脳腫瘍学会学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 武田純一, 内藤信晶, 羽柴哲夫, 李一, 亀井孝昌, 吉村晋一, 埜中正博, 浅井昭雄
2. 発表標題 脳室内腫瘍に対する5-ALA PDD併用神経内視鏡手術
3. 学会等名 第18回日本脳神経外科光線力学学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 羽柴哲夫, 岩村晴香, 李強, 宮田真友子, 李一, 亀井孝昌, 武田純一, 吉村晋一, 天神博志, 埜中正博, 浅井昭雄
2. 発表標題 INPHの手術前後にDaT Scanを施行した症例の検討
3. 学会等名 第41回日本認知症学会学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 羽柴哲夫, 板倉毅, 岩村晴香, 武田純一, 吉村晋一, 天神博志, 埜中正博, 浅井昭雄
2. 発表標題 術中の中心溝・一時運動野の同定においてMEPとSEPの所見が乖離を示した一例
3. 学会等名 第52回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 須山武裕, 島田志行, 濱本貴大, 浅井昭雄
2. 発表標題 頸椎後縦帯骨化症の糖尿病合併例で術中モニタリング所見に注意を要した経験
3. 学会等名 第52回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 須山武裕, 島田志行, 濱本貴大, 浅井昭雄
2. 発表標題 手根管症候群の神経疾患との神経伝導検査による鑑別診断の経験
3. 学会等名 第52回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 武田純一, 内藤信晶, 羽柴哲夫, 李一, 亀井孝昌, 吉村晋一, 埜中正博, 浅井昭雄
2. 発表標題 小型前方循環破裂脳動脈瘤におけるクリップvs.コイル
3. 学会等名 第38回日本脳神経血管内治療学会学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 須山武裕, 島田志行, 濱本貴大, 浅井昭雄
2. 発表標題 自転車での道路逸脱・転落に関連した頸髄損傷の治療経験
3. 学会等名 第70回日本職業・災害医学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 須山武裕, 島田志行, 浅井昭雄
2. 発表標題 内視鏡下脳腫瘍摘出および生検術の現状と問題点
3. 学会等名 第29回日本神経内視鏡学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 埜中正博, 李一, 羽柴哲夫, 浅井昭雄
2. 発表標題 1歳以下の乳児水頭症に対する内視鏡治療の適応と限界
3. 学会等名 第29回日本神経内視鏡学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 羽柴哲夫, 岩村晴香, 李強, 李一, 亀井孝昌, 武田純一, 吉村晋一, 天神博志, 埜中正博, 淺井昭雄
2. 発表標題 水頭症で発症し神経内視鏡治療が有効であったneurosarcoidosisの一例
3. 学会等名 第29回日本神経内視鏡学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 川上勝弘, 西村泰彦, 淺井昭雄
2. 発表標題 全脊椎内視鏡手術におけるIL法取得に関する考察
3. 学会等名 第29回日本神経内視鏡学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 李一, 埜中正博, 淺井昭雄
2. 発表標題 先天性水頭症の症状遅発例に対し第三脳室開窓術を行った症例の神経内視鏡所見
3. 学会等名 第29回日本神経内視鏡学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 須山武裕, 島田志行, 濱本貴大, 淺井昭雄
2. 発表標題 実質性小脳血管芽細胞腫に対する術前腫瘍塞栓と摘出手術の経験
3. 学会等名 第38回日本脳神経血管内治療学会学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 天神博志, 吉村晋一, 内藤信晶, 李一, 武田純一, 羽柴哲夫, 桒中正博, 浅井昭雄
2. 発表標題 低 Hight/Width 比動脈瘤のための横方向に広がる3次元coilの試作
3. 学会等名 第38回日本脳神経血管内治療学会学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 羽柴哲夫, 岩村晴香, 李強, 宮田真友子, 李一, 亀井孝昌, 武田純一, 吉村晋一, 天神博志, 桒中正博, 浅井昭雄
2. 発表標題 血液内科を主導とした PCNSL 治療へのシフトとその初期治療成績
3. 学会等名 第40回日本脳腫瘍学会学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 齊藤福樹, 中森 靖, 吉矢和久, 吉原智之, 浅井昭雄, 鎌方安行
2. 発表標題 COVID-19感染患者の頭頸部疾病に対する手術経験
3. 学会等名 第50回日本救急医学会総会・学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 磯崎春奈, 桒中正博, 武田純一, 内藤信晶, 李一, 小森裕美子, 亀井孝昌, 羽柴哲夫, 吉村晋一, 浅井昭雄
2. 発表標題 日本における脊髄髄膜瘤患者に対する水頭症手術加療の現状
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第81回学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 吉村晋一, 内藤信晶, 李一, 武田純一, 羽柴哲夫, 桵中正博, 浅井昭雄
2. 発表標題 もやもや病の診断後に出血発症した症例の検討
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第81回学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 川野晴香, 瀧田諒, 内藤信晶, 李強, 宮田真友子, 李一, 磯崎春奈, 小森裕美子, 亀井孝昌, 武田純一, 羽柴哲夫, 吉村晋一, 桵中正博, 天神博志, 浅井昭雄
2. 発表標題 膠芽腫における重複癌の検討
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第81回学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 羽柴哲夫, 内藤信晶, 宮田真友子, 李一, 亀井孝昌, 武田純一, 吉村晋一, 桵中正博, 浅井昭雄
2. 発表標題 定位的放射線治療後に摘出術を要した転移性脳腫瘍症例の検討
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第81回学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 亀井孝昌, 羽柴哲夫, 内藤信晶, 李一, 武田純一, 吉村晋一, 桵中正博, 浅井昭雄
2. 発表標題 脳室内・近傍腫瘍に対する内視鏡下5-ALA蛍光診断の有用性についての検証
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第81回学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 天神博志, 吉村晋一, 内藤信晶, 李一, 武田純一, 羽柴哲夫, 埜中正博, 浅井昭雄
2. 発表標題 小型動脈瘤のcoil単独塞栓術における動脈瘤形状の重要性
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第81回学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 武田純一, 内藤信晶, 羽柴哲夫, 李一, 亀井孝昌, 吉村晋一, 埜中正博, 浅井昭雄
2. 発表標題 超小型前方循環破裂脳動脈瘤におけるクリップvs.コイル
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第81回学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 川上勝弘, 須山武裕, 島田志行, 濱本貴大, 武田純一, 李一, 李強, 山村奈津美, 川野晴香, 浅井昭雄
2. 発表標題 脊髄圧迫症候群の現状と外科治療戦略
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第81回学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 川上勝弘, 李強, 須山武裕, 島田志行, 濱本貴大, 浅井昭雄
2. 発表標題 頭蓋頸椎移行部腹側病変への経到達法の経験
3. 学会等名 第29回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 川上勝弘, 李強, 須山武裕, 島田志行, 濱本貴大, 浅井昭雄
2. 発表標題 骨粗鬆症性椎体骨折に対するBKP手技の成績と工夫
3. 学会等名 第29回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 川上勝弘, 李強, 須山武裕, 島田志行, 濱本貴大, 浅井昭雄
2. 発表標題 高エネルギーびまん性特発性骨増殖症の椎体骨折に対する頸椎前方後方固定術の経験
3. 学会等名 第29回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 羽柴哲夫, 瀧田諒, 川野晴香, 内藤信晶, 李強, 宮田真友子, 李一, 亀井孝昌, 武田純一, 吉村晋一, 天神博志, 桒中正博, 浅井昭雄
2. 発表標題 結核腫の一手術例
3. 学会等名 第82回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 上野勝也, 桒中正博, 瀧田諒, 川野晴香, 内藤信晶, 李強, 宮田真友子, 李一, 武田純一, 羽柴哲夫, 吉村晋一, 天神博志, 浅井昭雄
2. 発表標題 中脳水道に再発した髄芽腫に対し内視鏡下腫瘍摘出術を実施した1例
3. 学会等名 第82回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 川野晴香, 瀧田諒, 内藤信晶, 李強, 宮田真友子, 李一, 磯崎春奈, 小森裕美子, 亀井孝昌, 武田純一, 羽柴哲夫, 吉村晋一, 桒中正博, 天神博志, 浅井昭雄
2. 発表標題 急性水頭症を来した巨大プロラクチン産生下垂体腺種に対し経脳室内視鏡下腫瘍摘出術を施行した1例
3. 学会等名 第82回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 川上勝弘, 李強, 須山武裕, 島田志行, 濱本貴大, 浅井昭雄
2. 発表標題 腰椎変性疾患患者への腰椎腹腔シャント術施行時の注意点と工夫
3. 学会等名 第29回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 島田志行, 須山武裕, 濱本貴大, 岩瀬正顕, 浅井昭雄
2. 発表標題 くも膜下出血にて発症した微小脳動脈瘤に対するコイル塞栓術の治療成績
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第81回学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 李一, 羽柴哲夫, 内藤信晶, 宮田真友子, 亀井孝昌, 武田純一, 吉村晋一, 桒中正博, 浅井昭雄
2. 発表標題 再発視神経膠腫に対する治療
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第81回学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 川上勝弘, 西村泰彦, 李強, 上野勝也, 淺井昭雄
2. 発表標題 全脊椎内視鏡手術IL法取得における現状と課題
3. 学会等名 第12回日本低侵襲・内視鏡脊髓神経外科学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 川上勝弘, 西村泰彦, 李強, 上野勝也, 淺井昭雄
2. 発表標題 腰椎黄色靭帯内血腫に対する全脊椎内視鏡手術の経験
3. 学会等名 第12回日本低侵襲・内視鏡脊髓神経外科学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 川上勝弘, 西村泰彦, 李強, 上野勝也, 淺井昭雄
2. 発表標題 尾骨仙椎化を病因とするL5/S1病変患者への全脊椎内視鏡治療経験
3. 学会等名 第12回日本低侵襲・内視鏡脊髓神経外科学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 須山武裕, 島田志行, 濱本貴大, 淺井昭雄
2. 発表標題 外転神経麻痺の診断
3. 学会等名 第36回日本神経救急学会学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 浅井昭雄, 川上勝弘, 須山武裕, 島田志行, 川野晴香
2. 発表標題 頭蓋頸椎移行部髄膜腫の手術経験
3. 学会等名 第37回日本脊髄外科学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 浅井昭雄, 川上勝弘, 須山武裕, 島田志行, 川野晴香
2. 発表標題 硬膜拡張症と骨陥凹像の神経線維腫症1型脊椎変形の手術療法
3. 学会等名 第37回日本脊髄外科学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 羽柴哲夫, 内藤信晶, 宮田真友子, 李一, 亀井孝昌, 武田純一, 吉村晋一, 桒中正博, 浅井昭雄
2. 発表標題 第2班ガイドラインから10年、現在の特発性正常圧水頭症治療の現状
3. 学会等名 第6回日本脳神経外科認知症学会学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小森裕美子, 桒中正博, 浅井昭雄
2. 発表標題 先天性水頭症のシャント抜去による生活の質への影響に関する調査
3. 学会等名 第50回日本小児神経外科学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 羽柴哲夫, 岡部英俊, 内藤信晶, 宮田真友子, 李一, 亀井孝昌, 武田純一, 吉村晋一, 埜中正博, 浅井昭雄
2. 発表標題 前頭蓋底部に発生し鼻腔への進展を示した (Yolk sac componentを有する) mixed germ cell tumorの一例
3. 学会等名 第40回日本脳腫瘍病理学会学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 齊藤福樹, 中森靖, 吉矢和久, 欽方安行, 浅井昭雄
2. 発表標題 頭部外傷後に生じる高次脳機能障害の多彩病態に対する診断と治療戦略
3. 学会等名 第25回日本臨床救急医学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 須山武裕, 島田志行, 川野晴香, 浅井昭雄
2. 発表標題 破裂脳動脈瘤くも膜下出血のコイル塞栓術急性期水頭症管理
3. 学会等名 第47回日本脳卒中学会学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 須山武裕, 島田志行, 川野晴香, 浅井昭雄
2. 発表標題 意識障害と失語症を生じた側頭葉海綿状血管腫の1例
3. 学会等名 第47回日本脳卒中学会学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 桒中正博, 吉村晋一, 浅井昭雄
2. 発表標題 抗CGRP抗体の投与が有効であったもやもや病に合併する難治性片頭痛の1例
3. 学会等名 第51回日本脳卒中の外科学会学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岩瀬正顕 須山武裕, 島田志行, 川野晴香, 浅井昭雄
2. 発表標題 頭部外傷後の下垂体機能低下症の現状
3. 学会等名 第45回日本脳神経外傷学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 須山武裕, 島田志行, 川野晴香, 浅井昭雄
2. 発表標題 高齢者脊髄損傷の現状
3. 学会等名 第45回日本脳神経外傷学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 吉村晋一, 前田昌丈, 上野勝也, 内藤信晶, 山村奈津美, 李一, 武田純一, 羽柴哲夫, 桒中正博, 浅井昭雄
2. 発表標題 フローダイバータースtentを用いた脳動脈瘤治療後にマロリーワイス症候群により出血性ショックを生じた1例
3. 学会等名 第27回日本脳神経外科救急学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 浅井昭雄
2. 発表標題 脳蘇生・脳死下臓器提供への取り組み
3. 学会等名 第27回日本脳神経外科救急学会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 須山武裕, 島田志行, 川野晴香, 浅井昭雄
2. 発表標題 脊髄内視鏡施術における術中モニターの経験
3. 学会等名 第51回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 羽柴哲夫, 上野勝也, 内藤信晶, 山村奈津美, 李一, 亀井孝昌, 武田純一, 吉村晋一, 埜中正博, 浅井昭雄
2. 発表標題 転移性脳腫瘍術後局所照射後に播種性再発を生じた症例の検討
3. 学会等名 第39回日本脳腫瘍学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 埜中正博, 羽柴哲夫, 浅井昭雄
2. 発表標題 ヒストンH3-K27M変異を認める視床の膠芽腫に対する積極的切除術の意義
3. 学会等名 第39回日本脳腫瘍学会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 須山武裕, 島田志行, 川野晴香, 浅井昭雄, 齊藤福樹, 吉矢和久, 中森靖, 鎌方安行
2. 発表標題 三次救命救急センターを有する大学附属病院に搬入された労働災害関連の脊椎脊髄外傷の現状
3. 学会等名 第69回日本職業・災害医学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 須山武裕, 島田志行, 川野晴香, 浅井昭雄
2. 発表標題 パリペリドンにより出現した薬剤性高プロラクチン血症の1例
3. 学会等名 第31回臨床内分泌代謝Update
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 羽柴哲夫, 上野勝也, 内藤信晶, 山村奈津美, 李一, 亀井孝昌, 武田純一, 吉村晋一, 埜中正博, 浅井昭雄
2. 発表標題 tap test後にDat Scanを施行した症例の検討
3. 学会等名 第40回日本認知症学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 須山武裕, 島田志行, 川野晴香, 浅井昭雄
2. 発表標題 血液異常に生じた頭蓋内硬膜動静脈漏の2例の治療経験
3. 学会等名 第37回NPO法人日本脳神経血管内治療学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 須山武裕, 島田志行, 武田純一, 吉村晋一, 山村奈津美, 李一, 川野晴香, 羽柴哲夫, 岩瀬正顕, 浅井昭雄
2. 発表標題 Double jail stent assist techniqueによるコイル塞栓術の検討
3. 学会等名 第37回NPO法人日本脳神経血管内治療学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 島田志行, 須山武裕, 川野晴香, 岩瀬正顕, 浅井昭雄
2. 発表標題 短期間で再増大した破裂脳底動脈前下小脳動脈分岐部動脈瘤に対してステント併用コイル塞栓術を施行した1例
3. 学会等名 第37回NPO法人日本脳神経血管内治療学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 武田純一, 内藤信晶, 羽柴哲夫, 上野勝也, 山村奈津美, 李一, 亀井孝昌, 吉村晋一, 桒中正博, 浅井昭雄
2. 発表標題 CASにおける外頸動脈遮断なしのflow reversal法は有効か?
3. 学会等名 第37回NPO法人日本脳神経血管内治療学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 齊藤福樹, 中村靖, 鎌方安行, 浅井昭雄
2. 発表標題 髄膜炎の診断における注意点
3. 学会等名 第49回日本救急医学会総会・学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 須山武裕, 島田志行, 川野晴香, 浅井昭雄
2. 発表標題 脊椎内視鏡手術導入に伴う手術・教育環境構築の試み
3. 学会等名 第28回日本神経内視鏡学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 羽柴哲夫, 上野勝也, 内藤信晶, 山村奈津美, 李一, 亀井孝昌, 武田純一, 吉村晋一, 桒中正博, 浅井昭雄
2. 発表標題 iNPHに対するLPシャント後に増大し、経鼻内視鏡の開窓術後の髄液漏治療に難渋したラトケ嚢胞の一例
3. 学会等名 第28回日本神経内視鏡学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 桒中正博, 浅井昭雄
2. 発表標題 動眼神経麻痺と眼痛にて発症した動眼神経neuromuscular hamartomaの1例
3. 学会等名 第38回日本こども病院神経外科医会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 武田純一, 内藤信晶, 羽柴哲夫, 上野勝也, 山村奈津美, 李一, 亀井孝昌, 吉村晋一, 桒中正博, 浅井昭雄
2. 発表標題 硬膜動静脈瘻治療における3Dプリンタの有用性
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第80回学術総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 磯崎春菜, 桢中正博, 武田純一, 上野勝也, 内藤信晶, 山村奈津美, 李 一, 小森裕美子, 亀井孝昌, 羽柴哲夫, 吉村晋一, 浅井昭雄
2. 発表標題 内視鏡下5-ALA蛍光診断を用いた脳室内腫瘍手術の検討
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第80回学術総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 内藤信晶, 羽柴哲夫, 上野勝也, 山村奈津美, 李一, 亀井孝昌, 武田純一, 吉村晋一, 桢中正博, 浅井昭雄
2. 発表標題 乳児脊髄脂肪腫手術時の術中神経生理モニタリング
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第80回学術総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 吉村晋一, 武田純一, 上野勝也, 山村奈津美, 内藤信晶, 磯崎春菜, 李一, 亀井孝昌, 羽柴哲夫, 桢中正博, 浅井昭雄
2. 発表標題 大型部分血栓化脳動脈瘤の治療
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第80回学術総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 川上勝弘, 須山武裕, 島田志行, 川野晴香, 浅井昭雄
2. 発表標題 神経線維腫症 型に生じた夜間痛で発症した多発脊髄神経鞘腫の治療経験
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第80回学術総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 川上勝弘, 岩瀬正顕, 李強, 浅井昭雄
2. 発表標題 椎間板および椎体の退行変性を伴う壮年期腰椎分離すべり症の治療経験
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第80回学術総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 埜中正博, 浅井昭雄
2. 発表標題 診療レセプトデータから見た本邦における脊髄髄膜瘤患者の長期予後
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第80回学術総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 埜中正博, 前田昌丈, 浅井昭雄
2. 発表標題 新生児期に右下肢の進行性麻痺を認めた腰仙部脊髄脂肪腫の一例
3. 学会等名 第69回小児神経学会近畿地方会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 上野勝也, 羽柴哲夫, 磯崎春菜, 埜中正博, 武田純一, 内藤信晶, 山村奈津美, 李一, 前田昌丈, 小森裕美子, 亀井孝昌, 吉村晋一, 浅井昭雄
2. 発表標題 開頭術を要した重症頭部外傷における脳圧モニタリングの有用性と留意点
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第80回学術総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 羽柴哲夫, 上野勝也, 内藤信晶, 山村奈津美, 李一, 亀井孝昌, 武田純一, 吉村晋一, 埜中正博, 浅井昭雄
2. 発表標題 髄液シャント術における抗菌カテーテル(パクティシール)の初期使用経験
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第80回学術総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 島田志行, 須山武裕, 岩瀬正顕, 川野晴香, 浅井昭雄
2. 発表標題 交通外傷による多発外傷性動静脈瘻に対して根治的塞栓術を施行した1例
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第80回学術総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 武田純一, 内藤信晶, 羽柴哲夫, 上野勝也, 山村奈津美, 李一, 亀井孝昌, 吉村晋一, 埜中正博, 浅井昭雄
2. 発表標題 硬膜動静脈瘻治療における3Dプリンタの有用性
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第80回学術総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 李一, 羽柴哲夫, 磯崎春菜, 埜中正博, 武田純一, 内藤信晶, 山村奈津美, 前田昌丈, 小森裕美子, 亀井孝昌, 吉村晋一, 浅井昭雄
2. 発表標題 進行性の高次脳機能障害を呈し、画像上髄膜血管腫症が疑われた1例
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第80回学術総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 浅井昭雄, 川上勝弘
2. 発表標題 びまん性特発性骨増殖症に生じた頸椎骨折手術の工夫
3. 学会等名 第28回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 浅井昭雄, 川上勝弘
2. 発表標題 ナビゲーション支援による頸椎椎弓根スクリューの工夫
3. 学会等名 第28回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 須山武裕, 島田志行, 川野晴香, 浅井昭雄
2. 発表標題 当施設での脳死下臓器移植への取り組み
3. 学会等名 第33回日本脳死・脳蘇生学会総会・学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 埜中正博, 磯崎春菜, 小森裕美子, 浅井昭雄
2. 発表標題 手術数から見た本邦における脊髄髄膜瘤患者の現状
3. 学会等名 第38回日本二分脊椎研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 浅井昭雄
2. 発表標題 プロラクチン産生下垂体腺腫の脳神経外科外来での治療状況
3. 学会等名 第39回日本内分泌学会内分泌代謝サマーセミナー
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 浅井昭雄
2. 発表標題 男性プロラクチン産生下垂体腺腫の特徴
3. 学会等名 第39回日本内分泌学会内分泌代謝サマーセミナー
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 浅井昭雄
2. 発表標題 続発性下垂体機能低下症におけるGHホルモン補充療法の現状
3. 学会等名 第39回日本内分泌学会内分泌代謝サマーセミナー
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 須山武裕, 島田志行, 山村奈津美, 浅井昭雄
2. 発表標題 Crowned dens syndrome (CDS)の1例
3. 学会等名 第35回日本神経救急学会学術総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 川上勝弘, 須山武裕, 島田志行, 山村奈津美, 李強, 浅井昭雄
2. 発表標題 興味ある脊椎内視鏡手術所見を示した腰部脊椎管硬膜外脂肪の1例
3. 学会等名 第36回日本脊髄外科学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 埜中正博, 上野勝也, 磯崎春菜, 浅井昭雄
2. 発表標題 終系脂肪腫の遺伝傾向に関する検討
3. 学会等名 第49回日本小児神経外科学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 川上勝弘, 須山武裕, 島田志行, 李強, 浅井昭雄
2. 発表標題 胸椎OPLLおよび胸椎OLFの特徴と手術治療
3. 学会等名 第36回日本脊髄外科学会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 川上勝弘, 岩瀬正顕, 須山武裕, 島田志行, 山村奈津美, 李強, 浅井昭雄
2. 発表標題 ハングマン骨折の手術法選択
3. 学会等名 第36回日本脊髄外科学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 川上勝弘, 岩瀬正顕, 須山武裕, 島田志行, 山村奈津美, 李強, 淺井昭雄
2. 発表標題 脊椎内視鏡手術における根動脈損傷回避のための術前画像診断の必要性
3. 学会等名 第36回日本脊髄外科学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 齊藤福樹, 中村靖, 鎌方安行, 淺井昭雄
2. 発表標題 頸髄損傷に対する手術療法の現状
3. 学会等名 第35回日本外傷学会総会・学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 齊藤福樹, 中村靖, 鎌方安行, 淺井昭雄
2. 発表標題 作業用エレベーター関連外傷による頭蓋骨開放性粉碎骨折の1例
3. 学会等名 第35回日本外傷学会総会・学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 羽柴哲夫, 上野勝也, 内藤信晶, 山村奈津美, 李一, 亀井孝昌, 武田純一, 吉村晋一, 桒中正博, 淺井昭雄
2. 発表標題 Methionine PETにて再発と診断し摘出術を行った脳腫瘍病変の病理学的検討
3. 学会等名 第39回日本脳腫瘍病理学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岩瀬正顕, 須山武裕, 島田志行, 李強, 浅井昭雄
2. 発表標題 ノカルジア脳膿瘍の治療経験
3. 学会等名 第79回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会
4. 発表年 2021年

〔図書〕 計0件

〔出願〕 計1件

産業財産権の名称 窒素含有化合物、前記窒素含有化合物を含む組成物、及び腫瘍悪性度の予測マーカー	発明者 林 美樹夫, 池田 幸樹, 岩田 亮一	権利者 学校法人関西医 科大学
産業財産権の種類、番号 特許、特願2022-160708	出願年 2022年	国内・外国の別 国内

〔取得〕 計0件

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分 担 者	林 美樹夫 (HAYASHI Mikio) (10368251)	関西医科大学・医学部・講師 (34417)	
研究 分 担 者	岩田 亮一 (IWATA Ryoichi) (60580446)	関西医科大学・医学部・非常勤講師 (34417)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------